

継続し、経済的負担の軽減と日常生活の便宜を図ります。  
精神保健福祉事業については、在宅精神保健の充実強化を図り、精神障がい者の社会復帰を支援します。

また平成26年11月から新しい地域活動支援センター「あるてい」が開設されました。障がい者の自立した日常生活、社会生活ができるよう支援します。  
自殺対策緊急強化事業は、自殺予防対策強化のためゲートキーパー養成講座等の開催を継続し、地域で予防活動を展開できる人材の育成に努めます。

また、引き続き臨床心理士を配置して、町立や認可保育園及び認可外保育施設等を巡回しながら、就学前の早い段階から発達に気になる子に対して現場の保育士や保健師、そして保護者と相談・助言を行い、保育や育児への支援をしていきます。

## 6 「豊かで活力的なまち」の推進

### (1) 農業の振興

本町農業の基幹作物であるさとうきびは、生産者の高齢化や担い手の減少及び台風による被害等、厳しい状況にあります。が、さとうきび増産を図るため、優

もに、昨年度に発足した4町村(西原町・与那原町・中城村・北中城村)で構成する「東海岸地域サトウキビ推進協議会」で検討を図り、本町の更なる活性化と観光拠点づくりを推進します。

### (5) 道路網及び排水の整備

住民生活及び産業活動に不可欠な安全性と利便性を確保し、快適で住みよい生活環境と地域の活性化を図るため、道路網及び排水路の整備を進めます。

今年度は、新規事業として兼久安室線街路整備事業(シンボルロード)に着手します。

また、継続事業として小波津川南線や兼久・仲伊保線(本線・産業通り)、森川翁長線、東崎兼久線の整備に引き続き取り組みとともに、森川3号線(橋梁掛替)、我謝白川原線の整備完了を目指します。

道路及び排水の維持管理については、日常的な巡視を強化するとともに、道路ストック総点検調査を活用し維持修繕に努めます。  
また洪水の防止・防災対策の強化に向けて、雨水利用促進助成を図るとともに地域の安全・防犯を強化するため防犯灯の拡充を図ります。

国、県事業については国道329号与那原バイパス(西原

良種苗の普及や古株更新の奨励、病害虫防除、機械化の推進等に取り組むとともに、西原町さとうきび生産組合をはじめとする関係団体と連携を強化し、生産の向上に努めます。

園芸作物については、収益性の高い品目の栽培、品質の向上と安定出荷を推進するため関係機関や団体と連携を強化するとともに、農業施設補助金や農業購入補助金等を交付し園芸農業の振興を図ります。また、毎年台風等による農作物の被害を解消するために、園芸施設の導入推進を図ります。

畜産業は、セリ価格が少しずつ回復の兆しは見られるものの、経営を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。畜産農家の経営基盤の安定、体質の強化を図るため、優良種畜導入の補助や家畜予防注射等を実施するとともに関係機関と連携し、農家の所得向上に向けた飼育技術の支援を行い、今後の生産拡大の推進に取り組みます。

今後の農業振興にあたっては、遊休農地の解消及び担い手の育成・確保が重要であります。現在、西原町耕作放棄地解消対策協議会及び農業委員会並びに関係機関連携のもと、(株)農業生産法人西原ファームにおいて

区間)整備事業や県道浦添西原線、同那覇北中城線整備事業、小波津川河川改修事業を連携して推進します。

### (6) 都市基盤施設の整備

アメニティー豊かな都市空間の形成を確立するため、土地利用の誘導を図るとともに、引き続き市街地整備や道路、公園、下水道整備など、重点的に整備すべき施策を効率的・効果的に推進します。今年度は、兼久安室線(シンボルロード)、呉屋安室線(シンボルロード)の2路線の都市計画決定を行います。また景観計画は、今年度で計画策定を完了させ、次年度の条例制定に向けて取り組みます。マリントウ地区の西原きらきらビーチ、東崎公園、東崎都市緑地(イ

ルカ公園)では、町内外から多くの利用者が訪れ賑わっています。特にイルカ公園は、幼児や児童生徒の利用が多いことから、遊具等の安全点検に努めます。また、当該地区へのさらなる集客や観光客を誘引するため、隣接する商業用地の早期処分を積極的に進めます。  
上原棚原土地区画整理事業については、引き続き、換地処分

の公告に向けて作業を進めます。西原西地区土地区画整理事業

て、耕作放棄地が徐々に再生され農作物の生産に活用されているところ。引き続き耕作放棄地再生及び新規就農者育成を図ります。

農水産物流通・加工・観光拠点整備事業については、基本計画に基づき基本設計及び用地取得に取り組みます。また、国の食と農林漁業の再生のための基本方針に基づき、人・農地プランを充実させ、新規就農者の育成に努めます。さらに、学校給食への地場農産物の利用拡大を含めた地産地消の推進を図り、地域農産物の消費拡大に努めます。

### (2) 水産業の振興

水産業は、与那原・西原町漁業協同組合及び西原支部との連携を強化するとともに、漁業の生産性の向上及び安全確保に向け、水産奨励補助金を交付し、漁業の振興に努めます。また、よりよい漁業の環境づくりのため、船だまり整備などの課題事項についても県と協議のうえ取り組みます。

### (3) 林業の振興

森林は国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保全形成など、公益的機能を有し、地球環境や人間生活に重要な役割を果たしている。また、新たに幸地地区オキコ周辺の土地区画整理事業(組合施行)の準備に向けた諸作業に取り組みます。

県都市モノレール事業については、関係機関と連携して推進し、周辺土地利用の検討を行います。

## 7 おわりに

平成27年度の各予算については、申し上げました諸施策事業などを中心に編成しています。(一)内の数字は対前年度当初比率です。

### (1) 一般会計歳入歳出予算案

131億2400万円 (12.1%)

### (2) 国民健康保険特別会計歳入歳出予算案

55億9235万1千円 (15.0%)

### (3) 介護保険特別会計歳入歳出予算案

20億7581万2千円 (7.3%)

### (4) 土地区画整理事業特別会計歳入歳出予算案

6億7743万円

ています。このような中、今年度は施肥保育、雑草下刈り、デイゴヒメコバチ防除、松くい虫被害木伐倒駆除など、自然環境の保全形成、森林の整備推進を図り、緑豊かなまちづくりに努めます。

### (4) 商工業の振興

商工業の振興については、西原町商工会との連携を強化しつつ、6次産業化に向けた農商工連携の推進に努めます。  
また、小那覇工業専用地域や東崎商業地域などへの企業誘致、企業立地に対する課税免除などを推進するとともに、地元企業への公共事業の優先発注、町産品優先使用などを引き続き推進し、町内企業の育成を図ります。

県内の雇用情勢については、依然として深刻で厳しいものがあります。町としても西原町雇用サポートセンター開所以来、町民の雇用機会の創出・拡充を図ってきたところです。今年度も引き続き、西原町商工会や関係機関、団体等との連携強化を図るとともに、広報誌やホームページ等を活用し、求人・求職者の登録を行い、新たな雇用創出の確保に努めます。

また昨年度は、若年者の就業意識向上を図るためNSBP(西原ソーシャルビジネスプロ

### (5) 公共下水道事業特別会計歳入歳出予算案

7億8640万円 (4.1%)

### (6) 後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算案

2億1400万円 (6.4%)

(7) 水道事業会計予算案については、収益的収入9億2613万円、収益的支出8億7659万6千円、資本的収入3918万8千円、資本的支出2億334万8千円で資本的収入が資本的支出に対し不足する額1億6416万円については、損益勘定留保資金等で補てんします。

なお、各種施策の具体的な事業は、主要事業として別紙にまとめていますので、予算案と併せてご参照ください。(西原町ホームページで公開しています)

以上、平成27年度の町政運営の基本姿勢及び主要施策の概要並びに予算案について申し上げますが、議員各位並びに町民みなさまのご指導ご協力をお願い申し上げます。平成27年度の施政方針といたします。

平成27年3月5日

西原町長 上間 明



900件以上の応募の中から決定した西原町観光キャラクター

さらに観光マップ、観光ポータルサイトなどを活用したPRや、西原町商工会及び関係団体等と連携を図り、国指定史跡「内閣御殿」などの町内の地域資源の発掘と活用、地場産品の開発に努めるとともに、観光協会の設立に向けた検討を行います。また、沖縄県が計画している大型MICE施設のマリントウ地区への誘致実現に引き続き取り組むこと



町花 ブーゲンビリア



町木 ガジマル



町花木 サワフジ(さがりばな)